シャロンの花

同窓会報

第 2 号

「シャロンの花」は、校歌の歌い出しです。昭和26年、創立10周年の時に制定されました。当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞のこの校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルに致しました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で純潔の象徴とされています。

平成10年３月10日発行

（表紙タイトル・イラストデザイン　昭和35年卒　北川広志）

発行者　千葉県立千葉東高等学校
同窓会会長　井戸川　浩

編集部　千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
〒263-0021　千葉市稲毛区轟町１－18－52
TEL　043－251－9221　FAX 043－255－6575

印刷所　㈲宮坂印刷　TEL 043－251－4537　FAX 043－251－4535

同窓会報「シャロンの花」第２号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会会長
井戸川　　浩

同窓生の皆様はじめ恩師の先生方におかれましては、お元気でお過ごしでしょうか？

同窓会報「シャロンの花」第２号をお届け致します。

昨年、同窓会役員はじめ多くの関係者のご努力によりまして、永年の懸案でありました同窓会報第１号を発刊することができました。発刊後、多くの先輩、同窓生から「待ち望んでいた」という励ましのお手紙をいただき、感激しております。

また、同時に実施致しました「創立60周年記念事業基金」と「同窓会活動維持基金」につきましても、多額の温かい浄財が寄せられました。お陰様で第２号を発刊し、今回もお１人お１人のお手元にお届けすることができました。ご寄附いただきました皆様の母校を愛する気持ちの深さに役員一同深い感銘を覚えております。ありがとうございました。

東高同窓会は、卒業生がすでに23,000名を超え、沢山の方々が各界で活躍されています。この同窓会報では、そうした同窓生の動向や、同窓会の活動、母校の動静、在校生の活躍の状況などをお知らせし、母校で学んだことを誇りに思うよすがとしていただければ幸いです。

発刊にあたり、学校当局をはじめ忙しい実業の合間を縫ってご協力頂きました役員、ＯＢ各位にも厚くお礼申し上げます。

また、昨年構想致しました「インターネットを通じたホームページ上での情報提供」につきましても研究が進み、かつ同窓生の協力の輪が広がりつつあり、間もなく開設できる見通しであります。

ともあれ、役員や編集委員は全てボランティアでございますので、情熱がありましても、時間の制約の関係で思い通りの活動がなかなか出来ないというのが実情でございます。

今後ともひとりでも多くの同窓生の皆様の物心両面にわたるご協力を得まして、紙面の充実を図っていきたいと思いますので、どうかご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

「校名と伝統」

同窓会名誉会長（校長）
長　妻　孝　治

私が高校に入学したのは、昭和29年でした。その頃、千葉市内の公立高校と言えば、千葉第一高等学校、千葉第二高等学校、千葉第三高等学校、千葉商業高等学校の４校だったように記憶しています。当時、本校は通称「三高」の名で、八街に住み、進学をめざす私達中学生にも知れ渡っていました。通称「一高」とか「二高」という校名を持った学校は、県下にいくつかありましたが、「三高」というのは、県内一校のみであり、卒業生や在校生の中には、その校名に強い愛着を持っていた者が多かったと聞いています。この校名は、昭和25年４月１日に県立移管になって、11年間続いた校名でした。そして、昭和36年４月１日よりナンバースクール廃止に伴い校名変更が行われたのですが、その際いろいろなエピソードがあったことが五十年史に見ることができます。「千葉中央高」という校名も話題に上ったそうですが、最終的には千葉東高等学校になったわけです。

さて、本校の教育方針は、一、生活態度の確立助成、二、進路指導の強化充実と並んで、三として男女共学の長所発揮が掲げられています。その説明文には、「調和と清純な雰囲気の中に、男女が互いに理解し合い、共にその徳性を生かして、社会の発展と福祉に貢献できるような資質を養う。」とあります。

三高当時の教師の指導は、厳しい中にも温か味があり、規則で厳しくしばることもなく、自由な雰囲気があったといいます。このことは、今でも引き継がれているように思われます。また、努力目標にある学力の充実と共に、基礎体力の向上から、勉強と部活動の両立を目指し、実践されていたと言われており、その実践が今もなお、脈々と引き継がれています。先達や多くの卒業生が連綿と築き上げてきたものが、千葉東高等学校の良き伝統・校風として確立されてきました。この良き伝統・校風を現在いる教職員、在校生が、守り伝えて行かなければならないと肝に銘じているところです。

平成9年度千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

平成9年度同窓会総会は、5月25日（日）千葉京成ホテルにおいて開催されました。

井戸川会長、長妻名誉会長の挨拶に続いて、来賓の先生方のご紹介・ご挨拶、母校職員の紹介の後、8年度の事業報告、会計報告、監査報告と続き、9年度の事業計画案、予算案の審議が行われ、活発な意見が交わされた後、すべて承認されました。

総会終了後、引き続いて懇親会が行われ、余興に千葉市在住の声楽家・加藤ひろみさんにソプラノを披露していただきました。私たちの耳に馴染みのある日本歌曲、イタリアのアリア等狭い会場にいっぱい響き渡りました。

今年度は、会報での宣伝効果があった為か、近年になく多くの同窓生の参加をいただき、盛り上がりを見せました。

最後に、同窓生で現在母校の音楽教諭をされている小川巧先生の指揮で、参加者全員が校歌を歌い、万歳三唱をして会が終了致しました。

平成8年度千葉東高等学校同窓会費決算書

総収入　3,756,668
総支出　2,622,005
残　高　1,134,663 …次年度へ繰越

収入の部

（単位：円）

項　目	収入済額
1. 会費	1,731,000
2. 入会金	288,500
3. 繰越金	1,627,048
4. 雑収入	110,120
計	3,756,668

支出の部

項　目	支出額
1. 運営費	1,476,055
(1) 会議費	142,117
(2) 総会費	402,269
(3) 通信費	259,259
(4) 慶弔費	580,091
(5) 旅費	0
(6) 雑費	92,319
2. 事業費	713,200
3. 予備費	0
4. 基金繰入金	432,750
計	2,622,005

基金繰入金会計

（定期預金）
平成8年度　累計　11,819,440

（単位：円）

摘　要	収　入	支　出
前年度より繰越	11,341,154	
利息（定期預金分）	45,536	
平成8年度分基金繰入金	432,750	
計	11,819,440	0

会計監査報告

平成8年度同窓会会計の出納簿、証拠書類および預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり異状ないことを認めたので、ここに報告いたします。

平成9年5月25日

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会計監査　石井　洋子　㊞
古市　純久　㊞

平成9年度千葉東高等学校同窓会費予算書

収入の部

（単位：円）

項　目	予算額
1. 会費	1,749,000
2. 入会金	291,000
3. 繰越金	1,134,663
4. 雑収入	10,000
計	3,184,663

支出の部

項　目	支出額
1. 運営費	1,490,000
(1) 会議費	120,000
(2) 総会費	400,000
(3) 通信費	300,000
(4) 慶弔費	500,000
(5) 旅費	20,000
(6) 雑費	150,000
2. 事業費	1,100,000
3. 予備費	157,413
4. 基金繰入金	437,250
計	3,184,663

生徒会活動について

生徒会長　石井　秀一（２－１）

東雲祭ポスター　美術部作成

生徒会本部は、会長１名、副会長・書記・会計各２名の計７名で活動しています。前期の活動としては、新入生オリエンテーション、生徒総会の開催があります。最高議決機関である総会では、予算案の承認や日頃、学校生活の中で疑問に思っていることが意見として出てきて、活発に討論しました。それからは、９月の東雲祭に向けての準備一色となりました。各参加団体の企画書審査から東雲祭実行委員会の開催、部屋割り、備品調整などを文化委員会と協力して行いました。当日は、パンフレットを増刷したほどで、昨年を上回る入場者数を記録し、どの団体も大成功に終りました。後期になると、気持ちは来年度ということで、生徒会会計の決算、予算案の作成、生徒総会への準備を行っています。普段の活動としては、月１回開かれる代議会の準備もしています。代議会は、本部、各クラスの委員長、副委員長と各委員会の委員長で構成されています。また、生徒会室では、毎日ほぼ全員が顔をそろえ、話し合いや発行物の印刷などの作業をしています。部活と同じような雰囲気で、和やかに進められています。

私は、生徒会活動に携わって、３期目になります。そのきっかけは、役員の立候補者不足という非常事態でした。一時は生徒会組織の存続でさえ、あやぶまれたほどです。しかし、定員割れながら何とか役員が出そろい選挙、活動開始は年度も押しせまった２月半ばとなってしまいました。そして、任期交替の時期が来て、いつしか自分が会長を受け継ぐ立場となってしまいました。今年度の前期、相変わらず選挙の心配はありましたが、役員一人一人が部活などとの両立をしながら活動しています。

私たち生徒会本部では、全校生徒と密接した活動をしていきたいと思っています。そこで今年度は、たくさんのアンケートに協力してもらうことで、生徒会活動の実態を知ってもらい、また、いろいろな声を聞くこともできました。

生徒会本部が一方的な活動を行っても、活発なものにはなりません。同じ生徒として、少しでも充実した高校生活が送れるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

部活動等の記録から

全日制

＜ラグビー部＞県大会準決勝進出

＜山岳部＞関東大会に出場（埼玉県奥秩父両神山）

＜音楽部＞ＮＨＫ全国学校音楽コンクール関東甲信越大会に参加（テープ審査）

全日本合唱コンクール関東大会で銀賞

＜学校新聞コンクール＞

千葉日報社主催第６回ワープロ・パソコン学校新聞コンクール高校の部銀賞（１年生の学年新聞“The Higashi Times”が受賞）

通信制

≪第46回千葉県定通体育大会≫

バレーボール部男子　優勝

バレーボール部女子　優勝

陸上部　今井義明　400m走　優勝

400mH走　優勝

卓球部女子　安藤明美　個人戦３位

団体戦３位

≪97年度全国定通体育大会≫

バレーボール男子

１回戦　千葉東　2　(16－17, 15－8, 15－11)　1　長野吉田（長野）

２回戦　千葉東　0　(1－15, 9－15)　2　湘南（神奈川）

バレーボール女子

１回戦　千葉東　2　(15－8, 15－13)　0　科学技術学園日野（東京）

２回戦　千葉東　0　(2－15, 5－15)　2　桃山（京都）

卓球部女子　安藤明美　１回戦敗退

≪定期演奏会のお知らせ≫

音　楽　部

平成10年３月27日（金）午後６時開演
於千葉市民会館大ホール
（顧問：小川教諭）

吹奏楽部

平成10年５月３日（日）
午後３時半開演
於千葉市民会館大ホール
（顧問：上野教諭）

マンドリン楽部

平成10年６月17日（水）午後６時開演
於千葉市民会館大ホール
（顧問：鵜沢教諭）

生徒たちの励みになりますので、ＯＢ・ＯＧの皆さん、多くの同窓生の皆さんのご来場を心からお待ちしております。

詳しくは、各部顧問教諭にお問い合わせ下さい。

通信棟新棟　まもなく完成

昨年８月から工事中の通信棟の新棟がまもなく完成します。家庭科の男女共修に伴なって、調理実習室が不足したため建築されるものです。鉄筋コンクリート３階建で延床面積５６２㎡。調理室、総合実習室、被服実習室などがあり、視聴覚施設を備え、多目的室としても利用できるようになっています。この４月のスクーリングから早速授業で使われます。

母校は今・・・

≪　国　際　交　流　≫

〈米国派遣プログラム〉

派遣期間：平成10年２月28日～３月25日
派遣生徒数：男子１名、女子15名
引率教諭：古水裕之、大迫太
派　遣　先：ニューヨーク州
　　イロンデクォイト高校

東高で日米高校交流プログラムが始まったのは、今から24年も前です。最初の姉妹校は、カリフォルニア州ブクサー高校で、派遣５回と受入れ３回がありました。次にペンシルバニア州チャールズ・ボエム高校とメディルベア高校へ移り、派遣のみ４回ありました。次はヴァージニア州トマス・ジェファソン高校で派遣１回と受入れ２回がありました。

現在のニューヨーク州イロンデクォイト高校とは交流を始めて10年目になります。本校からの派遣は毎年続いており、受入れは経済的な事情や関心度の違いなどもあり、途絶えた年もありました。10年間の派遣と受入れの数には幾分偏りはありますが、多数の生徒と教員を交換し、友情を深めると同時に、様々な文化交流を通して相互理解を進めてきました。

時を越えて

第20回暖流展

1997年8月19～24日
於千葉市立美術館　市民ギャラリー

美術部ＯＢによる集まりで、毎年８月に画廊ジュライで展覧会を開催しています。今回は、第20回記念会報も発刊しました。

＜暖流会・事務所　＞
〒260-0013 千葉市中央区中央４－６－７
画廊ジュライ気付　☎043－224－4984

東雲（しののめ）43の会

1997年9月28日
於ホテルスプリングス幕張
同期生 99名参加

昭和43年卒業のOB・OGの会「東雲43」（代表 小出秀文氏）が、母校卒業後30年の節目を迎えて再会を果たし、皆々、青春の日にタイムスリップしてフィーバーしました。

恩師の野村和先生、秋山一郎先生、青山克先生も駆けつけて下さり、母校の益々の発展とそれぞれ一層の精進を誓う絶好の機会となりました。

談笑の同期生　心は30年前にタイムスリップ

≪東高通信制課程ＯＢ会からのお知らせ≫

東高通信制課程ＯＢ会では、通信制50周年を記念する平成10年度通教ＯＢ会総会の開催を年末に予定しています。詳細につきましては、通信制事務局（☎043－251－9223）までお問い合わせ下さい。

いんたーねっとでOB会　MLシャロン

私達は、卒業年度を越えた交流を目的として、メーリングリストを開いています。メーリングリストとは、電子メールを通じた井戸端会議のようなものです。

これによって、東高の話題やインターネットの話題その他多くの話題で語り合いを楽しんでいます。

昨年１月に発足し、現在メンバーは10余名とまだまだ少ないですが、年齢層は20歳前後から30代半ばまでと幅広く、多彩なメンバーの間で日々ネット上で活発に交流しています。また、ネットを通してだけでなく、たまに集って直接顔を合わせ、全員で飲み会やボーリングなどを楽しんだりもしています。

みなさんもこのメーリングリストに参加しませんか？

お問い合わせは、以下のいずれかへ。

Ｅメール：栗原正幸（kurihara@first.tukuba.ac.jp）
WWW:http://www.acoust.rise.waseda.ac.jp/~ichihara/chhs/　もしくは、同窓会事務局まで。

座談会

千葉東高と私 (2)

左から　乾　享さん　宮崎和雄さん

今回は、通信制課程を昨年3月に卒業されました宮崎和雄さんと乾（いぬい）享さんからお話を伺いました。

宮崎さんは、昨年、第65回小説現代新人賞を受賞され、朝日新聞首都圏版「朝日ジョブ・ウィークリー」欄の ―あの人とこんな話― というページに文筆家として、大きな写真入りで紹介されました。編集部では、『小説現代』5月号に掲載された受賞作「洗濯機は俺にまかせろ」を読みました。楽しい短編小説でしたので、いろいろなお話を聞かせていただこうとご連絡を取ると、話すのが苦手とおっしゃいます。「同級生と一緒に通信のことを話すのなら」ということで承知していただきました。

ご一緒にいらした乾さんは、平成8年度全国高等学校通信制教育研究会会長賞を受賞され、現在62歳になられます。29歳の宮崎さんとは親子ほど年齢が違いますが、たまたま同じ方向から通学されていたことから、仲良くなられたそうです。

編集部：まず東高に入学された動機を伺えますか？

宮崎さん：僕は高校2年の夏で中退し、中途半端なのでけじめをつけようと思いました。でも、続くか自信がなかったです。2年に編入し、3年間で卒業しました。

乾さん：私は、大東亜戦争の東京大空襲で母や姉弟を失ない、終戦後の混乱期で高校進学できる状態ではありませんでした。新制になった中学校を卒業はしましたが、中学時代からアルバイトで自分の糧を稼いでいました。たまたま「県民だより」で東高の通信制のことを知り、入学しました。勉強できるのが嬉しく、頑張って4年間で卒業しました。

編集部：勉強では、どんなところ苦労されましたか？

宮崎さん：一番苦労したのは、何と言っても「数学」です。苦手でしたので下村先生に相談して、マンツーマンで指導を受けたこともあります。

乾さん：入学した時に、毎日2時間勉強しないと4時間で卒業できないと言われ、毎日夜中の2時3時に起きて勉強しました。教科書がボロボロになりました。

編集部：乾さんのように頑張って勉強される方がいると刺激を受けませんか？

宮崎さん：はい、とても刺激されました。

乾さん：通信は自分でスケジュールを決めて、自分に課して勉強しなくてはいけません。本当に頑張らないと続きません。入学当時は出席者も多いのですが、だんだん減っていき、4年間で卒業する人は少ないです。

宮崎さん：スクーリングのたびに仙台から車で来る人もいました。仕事の現場が仙台になってしまい、土曜の夜ずっと運転してきて、スクーリングに出席して、また仙台に帰る。でも、彼も頑張って1年で卒業しましたね。

乾さん：全日制からの編入生もいて、病気で学校を続けられなくて通信に移る。そして病院からスクーリングに出席したりして…。若い人もアルバイトをしながら通っていたり、主婦の方も頑張って勉強をしていました。それにしても、宮崎君が小説を書いているのを知らなかったな。電車の行き帰りにいろいろな話をしたり、二人だけの忘年会やったりもしてたけど…。

宮崎さん：誰にも言いませんでしたよ。高校中退で小説書いているなんて、恥ずかしくて言えませんよ。暇つぶしで書き始めたようなものですし、全く独学です。今は、小説は売れない時代ですし、この間書いたのは没になりました。たぶん内職として書くだけだと思います。

編集部：そんな弱気なことを言わずに、どんどん書き続けて、誰でも知っている小説家を目ざして下さい。

宮崎さんはとても控え目な青年で、小説のことに話を向けようとすると、最後まで恥ずかしがっていました。また、乾さんは卒業後も勉強を続けていられるとのことです。同窓生で是非応援しましょう。

お二人の今後のご活躍をお祈りしております。

同窓会活動維持基金
創立60周年記念事業基金
引き続いてご協力を!!

前号でご協力を呼びかけましたところ、多くのご賛同をいただきました。ありがとうございました。

1998年２月15日現在

同窓会活動維持基金	４,３０５,２２０円
創立60周年記念事業基金	２,５００,０００円

◆「同窓会活動維持基金」

上記のように多くの同窓生の皆様のおかげで、同窓会の「会活動活性化」の展望が開けました。

活性化の第一は、この会報発行業務でありますが、この他にホームページ開設費用や魅力ある総会運営の充実、学校の教育活動支援、生徒の部活動支援などの業務があります。

会報の発行は１回あたり約300万円かかりますが、可能な限り全員にお送りしたいと思っております。

毎年継続して会報を発行していくためにも、一人でも多くの同窓生の皆様のご賛同を得て、引き続き基金充実にご協力を願えれば幸いでございます。

お手数ながら、同封の郵便振替用紙にて１口２千円何口でも結構ですので、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

◆「創立60周年記念事業基金」

創立60周年を平成13年に迎えます。母校のお祝に同窓会でどのようなことができますでしょうか？

出費の重なるところ大変恐縮でございますが、昨年ご協力をいただけなかった方は、１口２千円にて何口でも結構ですので、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

郵便振替口座　００１６０－８－１４８９３２
千葉東高等学校同窓会

平成10年度総会のお知らせ

日時　５月２４日（日）午前１１時受付
場所　千葉京成ホテル　Tel.043－222－2111
会費　５,０００円

※総会終了後、懇親会を開きます。
卒業生はどなたでも出席できますので、
お誘い合わせの上、ご来場下さい。
申込み・問合せは、同窓会事務局まで。

＊広告募集（個人・法人）＊

この枠（A4版・1／8ページ 6.2cm×8.4cm）

１０,０００円　完全版下持ち込みにて

お問合せは
千葉県立千葉東高等学校内同窓会事務局迄
TEL　０４３－２５１－９２２１㈹
FAX　０４３－２５５－６５７５

《同窓会事務局からお知らせ・お願い》

- クラス会・同期会等で使えるように、校歌の入ったテープを音楽部顧問小川先生、部員の皆さんのご協力で作成致しました。ご入用の方はお譲り致しますので、事務局までお申込み下さい。（混声４部、斉唱他）
- クラス会・同期会・ＯＢ会等を開催されましたら、是非事務局までご連絡をお願い致します。
- 会員の住所・氏名等の変更がございましたら、事務局までご連絡をお願い致します。

編集後記

会報第２号を今年も皆様に読んでいただくことができまして、ほっとしております。慣れない仕事で印刷屋さんにご迷惑をかけながら、どうにか作業を終えました。

皆様から多数の声を寄せていただき、載せていきたいと考えておりますので、お気軽に同窓会事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

（石井ゆ）